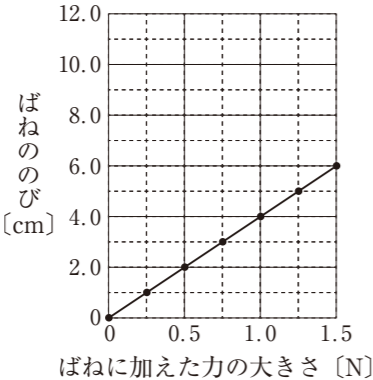
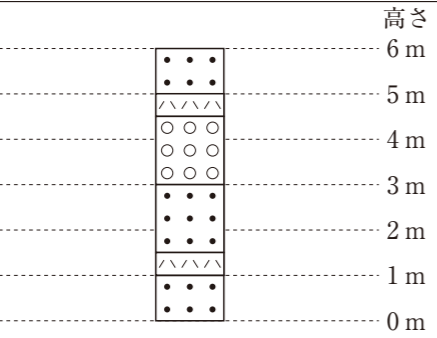
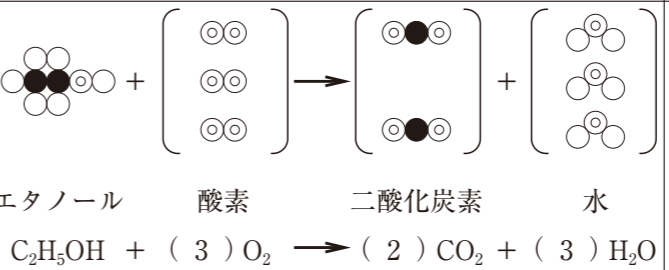


追検査

令和6年度採点の手引(理科)

問題	正答	配点	採点上の注意		
1	問1	エ	3	24	
	問2	イ, ウ, オ	3		
	問3	エ	3		
	問4	ア	3		
	問5	露点	3		
	問6	主根	3		
	問7	元素	3		
	問8		3		
2	問1	ウ	3	19	
	問2	示相化石	3		
	問3		4		層を表す記号については、凡例どおりでなくても、判読できればよい。
	問4	え	4		
	問5	(例) 富士山のある日本の上空では西から東に風がふいているのに対し、タンボラ山のあるインドネシアでは東から西に風がふいているから。	5		内容に応じて部分点を認める。
3	問1	名称 拍動 記号 イ	4	19	
	問2	(例) 動脈の壁は、静脈の壁よりも厚くなっている。	4		内容に応じて部分点を認める。
	問3	ア, エ	4		
	問4	(1) ウ (2) A	3 4		

問題	正答	配点	採点上の注意		
4	問1	ア	3	19	
	問2	イ	4		
	問3		4		
	問4	1350 kJ	4		
	問5	X (例) 化石燃料の消費量 Y (例) 火力発電でつくった水素を使った燃料電池自動車ではガソリン自動車より多くなるのに対し、太陽光発電でつくった水素を使った燃料電池自動車ではガソリン自動車より少なくなる	4		Yは、「ⅡではIより多くなるのに対し、ⅢではIより少なくなる」なども正答とする。 内容に応じて部分点を認める。
5	問1	回路図	3	19	
	問2	電圧 1.75 V 電流 300 mA	4		電圧は、「1.74」「1.76」も正答とする。
	問3	3V端子 3 kΩ 15V端子 15 kΩ 300V端子 300 kΩ	3		
	問4	(1) P 49 mA Q 499 mA R 4999 mA y 0.18 Ω z 1.8 Ω 計算の過程や考え方 (例) 50 mA, 500 mA, 5 A の-端子をそれぞれ使ったとき、オームの法則から次の3つの方程式をつくることことができる。 $\begin{cases} (x+y+z)\Omega \times 0.049\text{A} = 98\Omega \times 0.001\text{A} \\ (x+y)\Omega \times 0.499\text{A} = (z+98)\Omega \times 0.001\text{A} \\ x\Omega \times 4.999\text{A} = (y+z+98)\Omega \times 0.001\text{A} \end{cases}$ xに0.02を代入して連立方程式を解くと、y=0.18, z=1.8となる。	3 3 6		立式の段階でxに0.02を代入し、2つの方程式で数値を正しく求めているものも正答とする。 内容に応じて部分点を認める。
配点合計		100			